

事業所自己評価・ミーティング様式
1. 初期支援 (はじめのかかわり)

実施日	令和元年 10 月 17 日 (18:30~20:30)
メンバー	伊藤・長谷川・正藤・堀川・澤・大嶋 朝日・甚佐・下田・片山・大田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	2人	0人	11人

前回の改善計画	<p>家族参加型のにこにこファミリーデーを継続し、家族との交流の機会を増やすことで何でも話せる関係を作っていく。 利用開始前にはミーティングを行い、情報の共有を行っていく。</p>
---------	--

前回の改善計画に対する取組み結果	<p>にこにこファミリーデーを開催し家族との交流の機会もあったが、参加できる家族がほぼ決まっていたため参加できない家族との交流を図る機会が少なかった。送迎時に会える家族とは自宅での様子や介護面での不安や負担などを聞き取れるようにコミュニケーションを図ることができていた。 利用開始前にミーティングでの情報共有は行えたが、ケースによっては利用開始までにミーティングすることができず、職員へ個別に情報伝達し利用開始することもあった。</p>
------------------	--

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	8	1		11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	10			11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	9			11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	9			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者が不安にならないような声かけや対応を心がけて行っていた。家族に対しては利用時の様子などを送迎時や連絡帳にてお知らせし、自宅での様子や利用後の生活の変化がないかなどの聞き取りを行っていた。 毎日、短時間のミーティングで利用者の細かな変化や気付きを共有することができていた。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用開始までにある程度の期間がある場合はミーティングでの情報共有を行えたが、ケースによっては利用開始までにミーティングすることができず、職員へ個別に情報伝達し利用開始することもあり、不十分なこともあった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>家族参加型のにこにこファミリーデーを継続し、なかなか事業所へ来られることが少ない家族が参加できるような内容や日時を設定し、交流の機会を作っていく。 利用開始後は利用者の状態や変化について家族との情報交換を密に行い、なんでも話せる関係作りに努めていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 17 日 (18 : 30 ~ 20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 伊藤・長谷川・正藤・堀川・澤・大嶋
朝日・甚佐・下田・片山・大田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	5 人	2 人	11 人

前回の改善計画	身近な「～したい」を聞き取ったときに、なるべくすぐ実践できるよう家族への説明と事前準備をしておく実践した内容は、毎日のミーティングで振り返りを行い次回に活かせるよう記録する
前回の改善計画に対する取組み結果	「～したい」を聞き取り、実現出来ることはすぐに実行し、内容についても情報共有することができた。しかし、次回に活かせるような記録は行えていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		7	3	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	4	1	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		3	6	2	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		4	5	2	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
「～したい」を聞き取り、実現できることはすぐに実行することができた。また、実践できた内容については情報共有することができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者の目標をしっかりと把握できていない部分もあり、目標に添った「～したい」を聞き取ることが難しかった。本人の思いと家族の思いが一致していないこともあり、実践できずにいることも多々あった。一人一人とじっくりと関わる時間がなかなか作れず、「～したい」の聞き取りが思うように行えていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者の目標を理解し、当面の目標の「～したい」を引き出せるような関わりを持っていく。聞き取った「～したい」はすぐにカルテへの記入、職員間で情報共有し、日々の関わりの中で実践に繋げていく。また、実践した内容は毎日のミーティングや情報共有ノート、介護記録にて共有し、次の対応に活かしていく。	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	6 人	0 人	11 人

前回の改善計画	<p>普段の会話や自宅での様子などから以前の暮らし方を把握し、日々の記録に残し担当職員がカルテへの追加記入をしていく。 利用者の一日の流れに目を向け、自分で出来る事は本人のペースで行えるような環境作りをする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>家族や本人から以前の暮らしの様子の聞き取りは行えていたが、カルテへの追加記入が行なえておらず、職員全員が同じ情報を共有できなかった。 利用者の体調やその時々のお気持ちの変化などの気づきを情報共有し、ケアに繋げることができていた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		4	5	2	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	8			11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	7	2		11
④	本人のお気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	6	2		11
⑤	共有された本人のお気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	7	1		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者の体調やその時々のお気持ちの変化などの気づきを毎日の短時間のミーティングで情報共有することができた。 また、ミーティングで話し合うことで状況に合わせたケアや、状態に適した対応策を考え実施することができた。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>生活歴や思いを聞き取っていても、カルテへの追加記入を忘れてしまい情報共有ができていなかった。 また、情報が共有できていないためケアに活かさできていなかった。 利用者間で情報に差があり、一人一人にじっくりと関わり聞き取る事ができなかった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>利用者と一緒に関わる時間を持ち、自宅での様子や以前の暮らし方を聞き取り、その場でカルテに追加記入していく。 毎日のミーティングで情報共有を行い、その時々のお状態にあわせた対応を統一して行えるようにする。</p>	

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 伊藤・長谷川・正藤・堀川・澤・大嶋
朝日・甚佐・下田・片山・大田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	4 人	2 人	11 人

前回の改善計画	利用者や家族から得た情報は、介護記録や情報共有ノート、カルテに記入し全職員が把握する 利用者の暮らしている地域の情報を近所の方や民生委員の方から聞き取り、その方が参加出来ることを探し 参加に繋げていく
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者や家族から得た情報、自宅での困りごとなどを把握し、情報共有することができていた。 カルテへの記入ができておらず、時間の経過とともに情報があいまいになってしまう部分もあった。 利用者によっては近所の方や民生委員の方とお会いする機会があったが、地域の情報の聞き取りなどまで行えなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	5		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		3	6	2	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		7	2	2	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	6	4	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者、家族からの生活スタイルや自宅での過ごし方の聞き取り、自宅での困りごとの把握は行っていた。 また、得た情報について、毎日の短時間のミーティングや情報共有ノートで共有することができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域との繋がりについての支援はしっかりと行えていなかった。 送迎などで家族と会う機会が少ない職員は、地域との関係や自宅の環境などの把握が十分にできなかった。 また、民生委員や地域の方と交流できる職員は一部の職員に偏りがあった。 地域資源の理解、把握ができていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者、家族からこれまでの生活スタイルや地域との関わりなどを聞き取り、支援につなげていく。 利用者が住んでいる地域の民生委員の方と情報共有をしながら地域資源の把握を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 19 日 (18:30~20:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 伊藤・長谷川・正藤・堀川・澤・大嶋
朝日・甚佐・下田・片山・大田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	4 人	1 人	11 人

前回の改善計画	<p>利用者が住んでいる地域資源を理解し、活用できる様な働きかけが出来る 毎日のミーティングを行い、利用者の細かな情報や職員の気付きを報告し合い、対応の仕方やサービス調整に活かす</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>地域資源の理解、把握が出来ておらず、活用できるような働きかけにつながらなかった。 毎日のミーティングについては、職員体制により行えなかったときもあったが、なるべくできる様に声かけし行った。 毎日のミーティングでは利用者の細かな情報や職員の気付きを話し合い、対応の仕方やサービスの調整に活かす事ができていた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		2	6	3	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	7	1		11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	5	2		11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	6	2		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ニーズに応じたサービスの提供や本人の変化についての情報共有などはしっかりと行っていた。 また、状態の変化や職員の気付きをミーティングで共有することですぐにケアに繋げる事ができていた。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>毎日のミーティングについては、職員体制により行えなかったときもあった。 また、「地域資源」を難しく捉えていた為、活用できないという思いがあった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>短時間でも毎日のミーティングを継続し、利用者の変化や職員の気付きを発信、共有し柔軟な支援に繋げていく。 その方に関わるすべてが地域資源と捉え、地域での暮らしを支える資源として活用できるよう、情報収集や声かけを行っていく。</p>	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	5人	2人	11人

前回の改善計画	自治体や地域包括支援センターとの会議には、内容に応じて職員が交代で参加していく 高齢者サロンへの参加を継続し、地域の方と顔なじみの関係が作れるよう関わっていく
前回の改善計画に対する取組み結果	自治体や地域包括支援センターとの会議には、決まった職員以外にも参加できたが、職員体制が整わなかったり、馴染みのない会議への参加に抵抗があり交代での参加は難しかった。 高齢者サロンへの参加は継続して行え、地域の方にもきらめきへ来てもらい交流することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	1	3	6	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2		2	7	11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1		5	5	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		3	4	4	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>必要に応じて他サービス機関と情報共有しサービスの提供が行えていた。 毎年参加している地域の行事に作品を展示したり、利用者と一緒に参加することができた。 きらり祭やいきいき交流会を開催する事で、地域住民や登録以外の高齢者、子供達に来てもらうことができた。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>他サービス機関との情報共有は決まった職員 (ケマネ) が行う事がほとんどだった。 職員体制が整わず、地域の活動やイベントに積極的に参加できなかった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>利用者に関わっているその他のサービス機関を理解、把握し、どの職員も必要時に必要なサービス機関と情報伝達や連携が図れるようにする。 少人数、短時間でも地域の活動やイベントに参加出来るように職員体制を整えていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 19 日 (18 : 30~20 : 30)

7. 運営

メンバー 伊藤・長谷川・正藤・堀川・澤・大嶋
朝日・甚佐・下田・片山・大田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	3 人	4 人	3 人	11 人

前回の改善計画

家族参加型の行事でも家族と職員が交流する時間を設けたり、アンケートなどを活用して意見や要望の聞き取りを行う地域での行事や取組みに職員が交代で参加し、地域の一員として関わっていく

前回の改善計画に対する取組み結果

家族参加型の行事に参加される家族が決まっており、目新しさがないためか交流もいつも通りになってしまっていた。また、アンケートを実施することもできなかった。
職員体制が整わず、地域の行事や取組みに積極的に参加することができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		5	4	2	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8		1	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	2	1	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	2	5	3	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

送迎時などに家族とお話出来る時には、意見や要望などを聞く事ができている。
利用者、家族からの意見や苦情などに対応を迅速に行う事ができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

職員体制が整わず、地域の行事や取組みに参加することができなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

家族参加型のファミリーデーを活用し、家族との懇談会の機会を設け、意見や要望の聞き取りを行っていく。
運営推進会議を通して、地域の困りごとや心配事を知り協働して取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 19 日 (18 : 30～20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 伊藤・長谷川・正藤・堀川・澤・大嶋
朝日・甚佐・下田・片山・大田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	3 人	0 人	11 人

前回の改善計画	<p>職員同士で話し合いながら研修への参加計画を立てる また、参加した職員はミーティングで内容を報告し、参加できなかった職員にも共有していく ヒヤリハットや介護事故の再発防止策の確認・見直しを継続していく</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>研修への意欲があっても個人の都合や職員体制が整わない事で、決まった研修への参加になってしまった。 参加した職員からミーティングでの内容の報告をする事で、参加できなかった職員への共有を行った。 月一回のミーティングでヒヤリハットや介護事故の再発防止策の確認、見直しを継続して行う事ができた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	3	2	2	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	4	2	11
③	地域連絡会に参加していますか	2		3	6	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	6	1	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>職場内、職場外の研修へは参加出来る職員はなるべく参加し、参加できなかった職員への情報共有を行えた。 毎月のミーティングでヒヤリハットや介護事故の再発防止策についての話し合い、見直しを行い、同じような事が起こりうる 利用者の洗い出しなども行えた。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>研修への意欲があっても個人の都合や職員体制が整わない事で参加出来る研修が決まっていた。 リスクマネジメントに関して職員間で意識が違い、対策が活かされず同じような介護事故やヒヤリハットが発生してしまっ た。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>年度初めに個人のスキルに合わせた研修計画を立て、参加していく。 毎月のミーティング時に過去のヒヤリハットや介護事故の見直しや共有を行い、意識や対応の統一をしていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 19 日 (18 : 30～20 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 伊藤・長谷川・正藤・堀川・澤・大嶋
朝日・甚佐・下田・片山・大田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	3人	1人	11人

前回の改善計画	身体拘束や虐待について、定期的にミーティングで事例を挙げた勉強会を行い自身のケアについて振り返る 成年後見制度の勉強会を行う
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月のミーティングや身体拘束委員会で勉強会や事例を挙げて話し合うことで、自身のケアについての振り返りが行えた。 成年後見制度の勉強会を行えなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	7	4			11
② 虐待は行われていない	6	5			11
③ プライバシーが守られている	4	7			11
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	4	5	11
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	4	7			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待についての勉強会を行い、自身のケアについての振り返りやグレーゾーンのケアについて話し合うことができた。 プライバシーへの配慮や個人情報の管理は、職員同士で声かけしながら行っていた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度の対象となるご利用者がいなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ミーティング時に自身のケアについての振り返りやグレーゾーンのケアについて話し合いの機会を設ける。 成年後見制度について、講師を招き勉強会を行う。	